

東京都健康安全研究センターにおけるPCR検査*実施状況

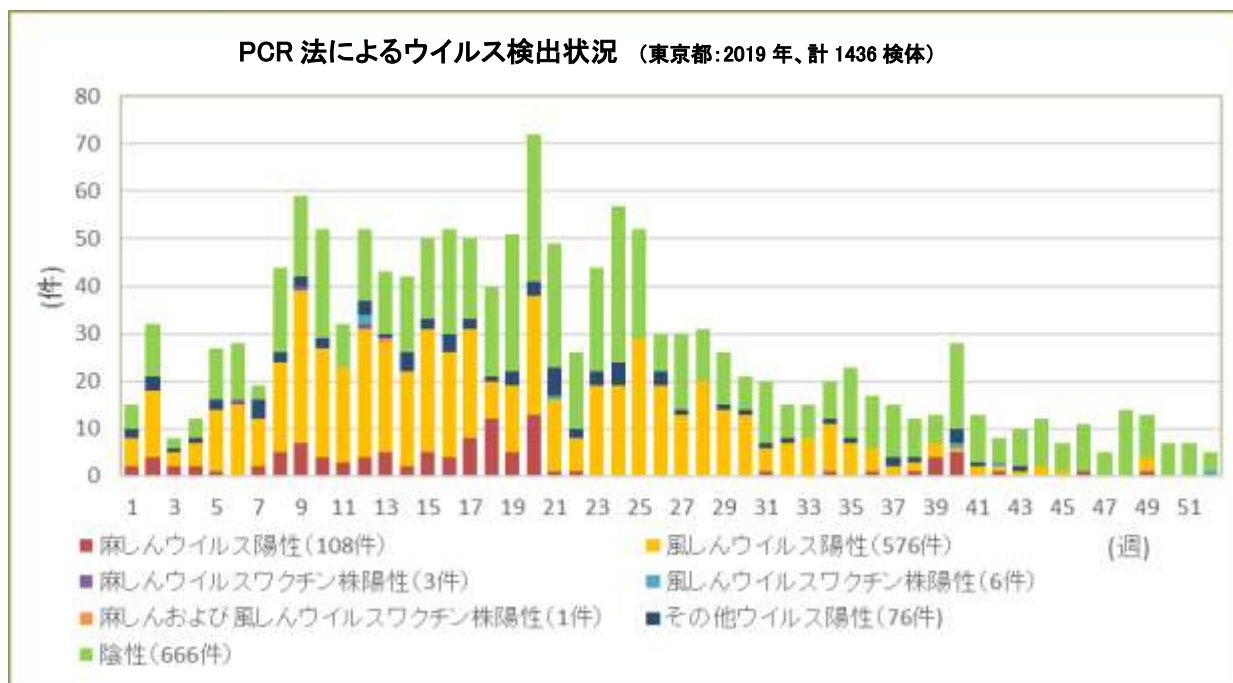
(2019年1週から52週)

東京都健康安全研究センター

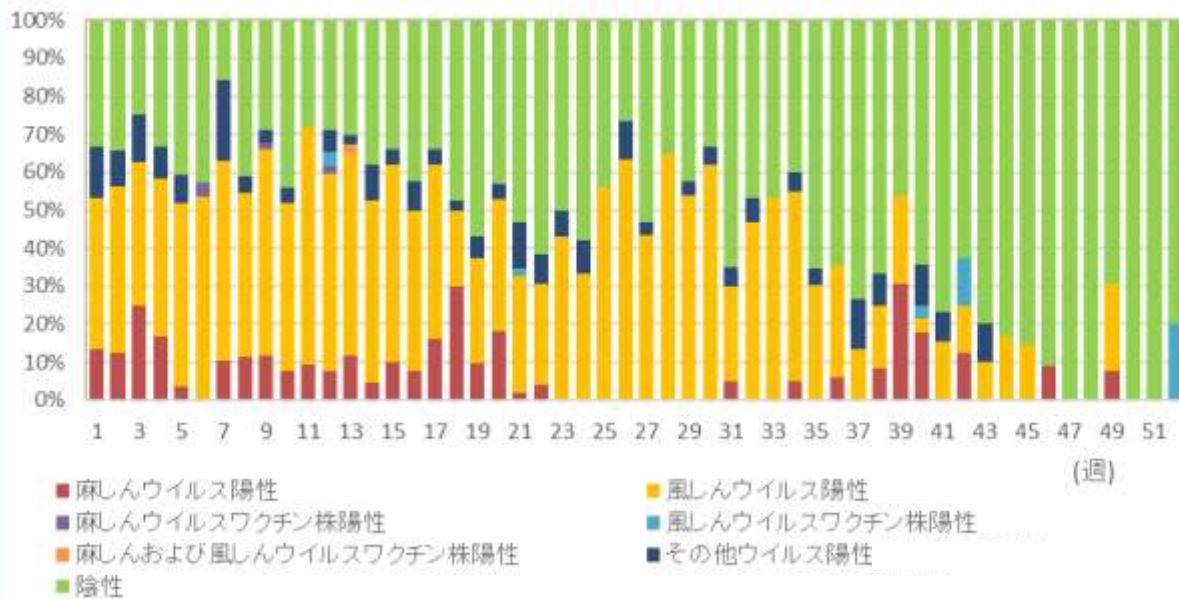
東京都では麻しんおよび風しんと診断された患者で協力が得られた場合、当センターに検体を搬入し、麻しんウイルスおよび風しんウイルスについてPCR検査を実施している。陰性だった場合は、パルボウイルスB19型のPCR検査を実施し、2歳以下では更にヒトヘルペスウイルスPCR検査も実施することとしている。

2019年1週から52週までで、麻しん・風しんと診断された患者1277人1436検体が当センターに搬入され、PCR検査が実施された。結果は、麻しんウイルス陽性が108検体、風しんウイルス陽性が576検体、麻しんウイルスワクチン株陽性3件、風しんウイルスワクチン株陽性6件、麻しんおよび風しんウイルスワクチン株陽性1件、その他のウイルス陽性(パルボウイルスB19又はヒトヘルペスウイルス)が76検体、陰性が666検体だった。

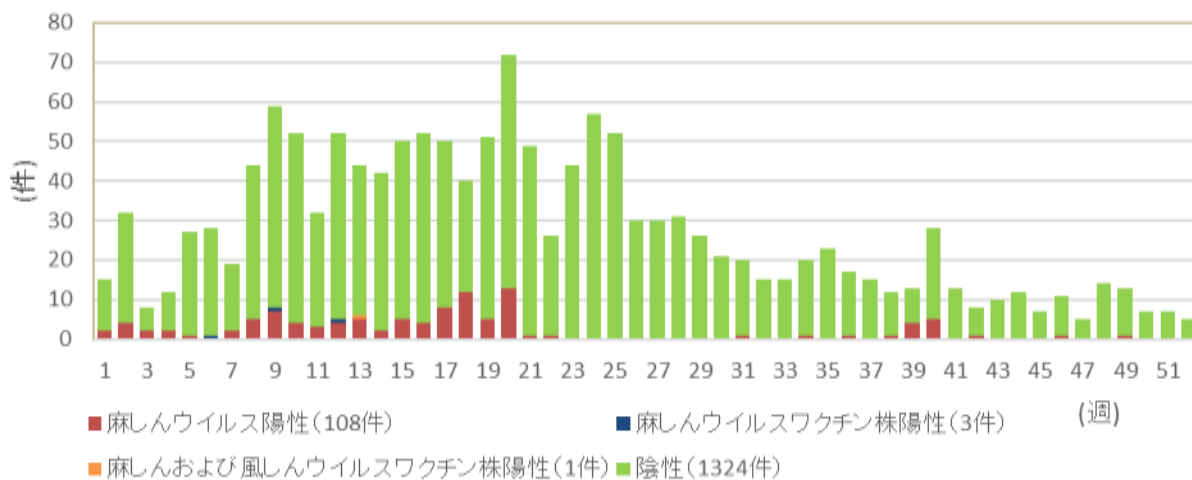
※PCR検査とは、特殊な酵素を用いて検査対象とするウイルス固有の遺伝子配列を増幅することにより標的となる病原体を検出する方法である。検出感度も高く、検出する対象の塩基配列を変える事により様々な検査に対応することが出来るため、現在では多くのウイルスの検査に応用されている。

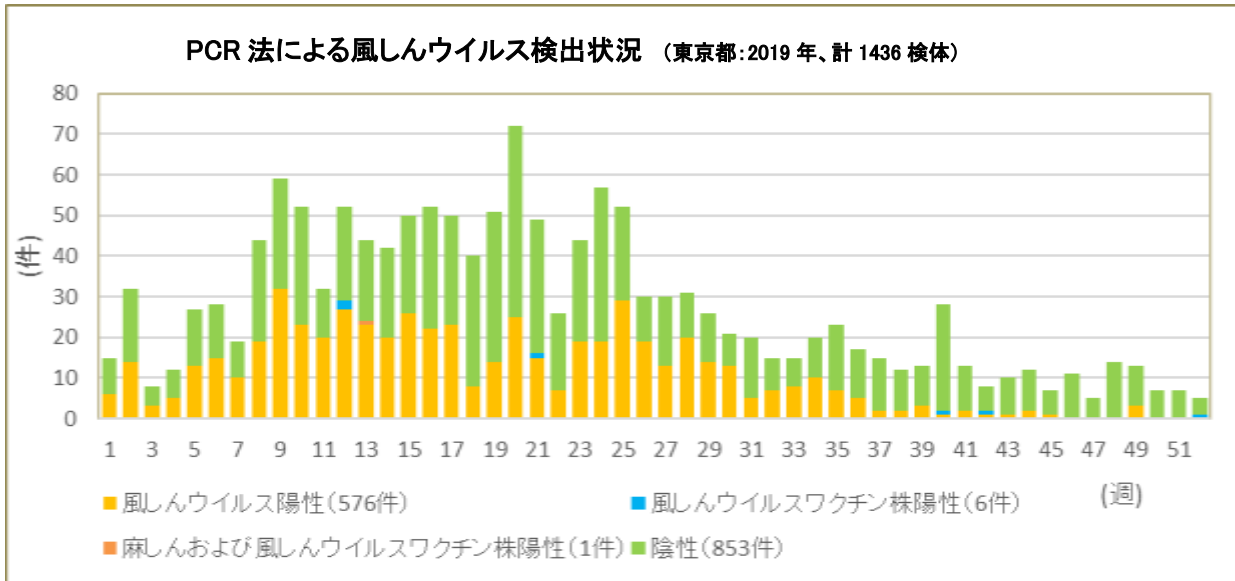


PCR 法によるウイルス検出状況の割合 (東京都:2019 年、計 1436 検体)



PCR 法による麻疹ウイルス検出状況 (東京都:2019 年、計 1436 検体)





<遺伝子型>

麻しんウイルス（108検体中遺伝子型が判明した数）
 D8型：65検体 B3型：43検体
 その他ワクチン型（A型）：4検体

風しんウイルス（576検体中遺伝子型が判明した数）
 1E型：531検体 2B型：8検体
 その他ワクチン（1a型）：7検体

その他のウイルス（76検体）
 ヒトヘルペスウイルス：30検体
 パルボウイルス B19：46検体